

サステナビリティ活動の推進

サステナビリティ方針

2018年4月18日 制定

私たちは、企業理念の実践を通じて企業価値の向上を目指すとともに、持続可能な社会の実現に貢献します。

1. 企業活動を通じて社会課題の解決に貢献します。

私たちは、人々が心身ともに健康であり続けられる社会の実現に向けて積極的に取り組み、企業活動を通じて社会課題の解決に貢献します。

2. 安全・安心を徹底します。

私たちは、製品・サービスの安全・安心を徹底し、その上で「おいしさ」、「たのしさ」、「やすらぎ」を提供することで、社会の豊かさの向上に貢献します。

3. 環境負荷の低減に貢献します。

私たちは、自然の恩恵を受けて成長し、地球の一員として成り立っていることをよく理解し、企業活動を通じて低炭素社会や循環型社会の実現に貢献します。

4. 従業員が能力を最大限に発揮できる職場環境を目指します。

私たちは、従業員一人ひとりの多様な個性や働き方を尊重し、ライフ・ワーク・バランスの実現に取り組み、個々の能力を最大限に発揮できる環境を目指します。

5. バリューチェーン全体で持続可能な社会の実現に向けて取り組みます。

私たちは、持続可能な社会の実現のために、ステークホルダーの皆様と協力し、バリューチェーン全体で取り組みます。

6. 対話を通じて社会からの信頼を確立します。

私たちは、あらゆる法令、規程を遵守し、人権を尊重するとともに、高い倫理観に則った誠実かつ公正な企業活動を遂行します。
私たちは、ステークホルダーの皆様との健全かつ正常な関係を構築するとともに、公正な競争、企業情報の適切な開示等、社会の一員としての責任を果たします。

社外との対話

サステナビリティの活動については、社外の声に傾聴しながら進めています。定期的に社外有識者とのダイアログを行い、いただいたご意見を活動に反映しています。また、社会的責任に関する国際ガイダンス規格であるISO26000を活用するとともに、SDGs(持続可能な開発目標)をはじめとする国際的なイニシアチブを踏まえ取り組みを推進しています。情報開示については、GRI(Global Reporting Initiative)やSASB(米国サステナビリティ会計基準審議会)を参考にしながら、ステークホルダーの皆様との対話に資するよう開示内容の拡充に努めています。

従業員への啓発

サステナビリティの活動を推進するためには、その担い手である従業員が考え方を十分に理解する必要があります。そこで、様々なアプローチで啓発活動を行っています。

● 社内報の活用

(株)ロッテで毎月発行している社内報で、マテリアリティやESG中期目標について解説する記事を掲載しています。また、2019年5月からは、社内報のWEB化に伴い、よりタイムリーな情報発信を行っています。

● 人事部門主催の研修を通じた啓発

人事部門が主催する各種研修の中で、サステナビリティに関する内容を組み込んでいます。2018年度は、シニアマネージャーを対象に実施したワークショップで、サステナビリティに関する知識や(株)ロッテの考え方について説明を行いました。また、2019年度より社員意識調査の管理職向けフィードバックの際に、サステナビリティについても説明する予定です。

● ESG勉強会の開催

(株)ロッテ経営戦略本部CSR部が主催し、マテリアリティに沿ったテーマで、社外の有識者による社内勉強会を開催しています。また、勉強会の内容は社内のイントラネットに掲示し、参加できなかった従業員とも内容を共有しています。2018年度は、「食品ロス」「ダイバーシティ」「食品表示」をテーマに勉強会を開催しました。

サステナビリティ活動推進体制

(株)ロッテ経営戦略本部CSR部が事務局となり関連部署と連携して、(株)ロッテグループ全体のサステナビリティ活動を推進しています。また、(株)ロッテの経営会議では、サステナビリティに関する重要な方針、マテリアリティ、中期目標の検討および進捗確認などを行っています。

